

【協働事業型】

糸満市市民提案型まちづくり事業計画書

事業名(テーマ)	地域包括ケアシステムに資する見守り体制の構築
事業の概要	少子高齢化が進展する中、今年 2025 年には団塊の世代が 75 歳以上に到達し、およそ国民の 5 人に 1 人が後期高齢者となると言われている。沖縄県は、県外に遅れて 75 歳以上人口の増加が 2040 年以後まで続くと言われており、超高齢社会の本番に向け、介護人材の不足等に対する将来の備えとして地域包括ケアシステムの構築が求められていることから、地域のボランティア等による相互支援の持続可能な提供体制の構築を図りたい。
提案への期待	地域包括ケアシステムの構築に求められる介護の専門人材等の活用を想定しない「多様な生活支援ニーズに対応する支援が多様な主体から提供される」形態の事業提案が期待される。 例) 地域における高齢者への持続可能性のある見守りの体系的な実施など
役割の分担	■団体が担う役割: ・ 地域の状況把握 ・ 生活支援の提供 ・ ボランティアマッチング ■担当課担う役割 ・ 生活支援コーディネーターの参画 ・ 広報活動の支援 ・ 事例検討
担当課	糸満市介護長寿課